

**一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会**  
**第 18 期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）事業計画案**

**1. 2025 年度の基本方針**

JIIA は会員各位の健康、安全を重視しつつ、最新の動向を踏まえ、標準化に係わる活動を推進し、活動を通じて広く知見の共有と将来を見据えた人材発掘育成を JIIA 会員と共に目指して参ります。

具体的には、以下の通り活動して参ります。

**(1) 設立目的に沿った活動の展開**

- ・ JIIA 定款第 3 条 1 項に謳っている設立目的を着実に実行することを基本とする。

**(2) JIIA 活動の実行力の強化**

- ・ 理事、委員会および分科会の人員を強化し、活動の実行力を高める。
- ・ 次世代の人材の育成を積極的に推進する。
- ・ 活動内容を精査し分科会の統廃合など必要性に応じて効率化を図る。

**(3) G3 を基盤とした標準化に関する活動に積極関与**

- ・ G3 傘下で活動している IVSM、FSF に積極的な関与を継続し、国内外の展示会、フォーラム、ビジネスカンファレンスへ参加していく。
- ・ ロボットビジョン、AI などガイドライン、技術情報を必要とする新技術の紹介を積極的に推進する。

**(4) 国際規格標準化への積極寄与**

- ・ マシンビジョン規格の国際標準化の動向に積極的に直接関与する為に「国際規格推進委員会」を中心に国際規格標準化に積極関与する。
- ・ ITU-T 規格への対応は TTC と連携し規格化をトレースし、G3 規格ガイドラインの ITU-T 標準化提案を目指す。
- ・ ISO による G3 規格の国際標準化の国内委員会に担当委員会が参加し公正な標準化に寄与する。

**(5) アソシエート・ディベロップメントを発展させ、広報、企画、マーケティング活動の最適化を図る**

- ・ 柔軟性のある効率的な組織化を推進する。
- ・ マシンビジョンを取り巻く技術を専門とする他団体との連携の深化を推進する。
- ・ 会員間の交流を推進するため、セミナー、交流会、メールマガジン、技術発信の機会を充実させる
- ・ 通信、AI、ロボット等に関連する企業、大学、研究機関などへ JIIA 会員への参画を促すべく積極的な活動を継続し会員数の増加を図る。

(6) 独立行政法人東京都産業技術研究センターとの協力を維持、強化

- ・ JIIA 及び G3 が管轄する既存の各種規格を始め、今後新たに審議し、規格化していく画像技術の電氣的、機械的な評価精度を一層向上させるために東京都産業技術研究センターとの協力関係を維持、強化していく。

(7) 事務局体制を強化

- ・ JIIA 活動を下支えする事務局体制の更なる強化とスポット的なリソース要求に対応することのできる体制を構築する。

(8) ガバナンス・コンプライアンスの強化

- ・ 一般社団法人としての JIIA 活動を支えるガバナンスを強化しコンプライアンス体制を確立するため必要な措置をとる。

これらの基本方針に則り、アソシエート・ディベロップメントおよび各委員会の詳細な活動計画をご提案申し上げます。

## 2. アソシエート・ディベロップメント

2024 年度の活動を発展させていくために、引き続き、ロボット革命・産業 IoT イニシアチブ協議会（RRI）と日本ロボットシステムインテグレータ協会（JARSIA）との連携活動を継続いたします。2024 年度は RRI、JARSIA との関係性を構築することに注力をしてきましたが、2025 年度は 2024 年度に築いた関係性をさらに発展させ、組各団体との連携活動を JIIA 会員にも発信していきます。

また、RRI、JARSIA と JIIA で「ロボット＋ビジョン」システムを構築するための基本知識やフローなどを解説したガイドラインを作成し、ビジョン側の人々がロボットを、ロボット側の人々がビジョンを理解し、自ら、ロボット＋ビジョンのシステムを手掛けていけることを目的としています。ガイドラインの作成にあたっては、それぞれの団体からメンバーを募り、活動することを予定しています。

JIIA 会員に向けて、技術セミナー、マーケティングセミナーを開催いたします。ビジョンだけにとらわれず、世界で、日本で起きている変革や技術の情報、また、基礎的な研究分野など、さまざまな分野に知見がある講師をお招きして、セミナーを行いたいと思います。そのセミナーの場が JIIA 会員同士の交流の場にもなるように、ビジネスマッチングも企画をしていきます。

2025 年度のイベント、活動計画は下記の通りとなります。

- 1) 技術セミナー 3 回（6 月/社員総会基調講演、10 月、2 月）予定
- 2) ビジネスマッチングセミナー 2 回（9 月、1 月）予定
- 3) RRI、JARSIA とのガイドライン作成プロジェクト（7 月から開始予定）
- 4) 連携団体が出展する展示会での JIIA 紹介展示、ミニセミナー開催
- 5) 連携団体が開催するイベント情報、セミナー情報を JIIA 会員へ紹介（メルマガ活用）
- 6) 連携他団体へ JIIA 活動を開示（他団体のメルマガなどを活用）

7) 海外展示会において、JIIA Pavilion の出展を検討

### **3. 標準化委員会**

#### **■ 展示会、セミナー等における普及活動**

5月：Automate 展（アメリカ：デトロイト）への出展

6月：画像センシング展において International Machine Vision Standards Booth で展示及び JIIA セミナーの開催

9月：JVSM（JIIA's Machine Vision Meeting）でのセミナー開催

12月：国際画像機器展において International Machine Vision Standards Booth で展示及び JIIA セミナーの開催

2026年2月：JVSM（JIIA's Machine Vision Meeting）でのセミナー開催

2026年3月：Vision China 展（中国：上海）への出展

地方の展示会への出展とセミナー開催も実施する方針とします。

#### **■ G3 規格化会議**

4月： IVSM 参加（A3 主催）：カナダ/ケベックシティ

11月： IVSM 参加（CMVU 主催）：中国/海口（Haikou）

#### **■ デジール国際標準化会議**

6月： ISO ベルリン会議オンライン参加：ドイツ/ベルリン

10月： ISO クパチーノ会議対面参加：米国/サンノゼ市クパチーノ

2026年2月： ISO 東京会議オンライン参加

#### **■ マシンビジョン普及活動**

各分科会で進めている標準化、規格化活動及びこれまでの活動成果をベースにマシンビジョンの普及活動に努めます。グローバルかつあらゆる分野に拡大を続けるマシンビジョンを会員企業様にわかりやすく紹介し、業界のさらなる発展に貢献します。

#### **■ 分科会活動**

分科会間の交流を図るため、合同分科会や、各分科会を一定日程で密に集中しての開催を予定するほか、分科会内での議論を活性化するため、オンライン開催から対面やハイブリッドでの開催への転換を図ります。

##### **(1) CoaXPress 分科会**

- ・ Version3.0 開発では同軸ケーブルでの CXP-25 以上の速度の開発と光インターフェースの統合を検討します。同軸規格用の新コネクタの評価と光インターフェース用の小型コネクタの検討を他団体規格と連携し議論を行います。
- ・ 相互接続試験において Validation Frame Work 試験の必須化を推進するために、GenICam 規格の一部開放を実現します。

- ・ 認証試験（Virtual を含む PlugFest、ECT）を 4 回開催します。
- ・ 電気適合試験設備のメンテナンスを実施し継続的な試験、認証体制の維持を行います。
- ・ IVSM において CoaXPress 会議を主催し、技術者の規格理解共有を推進します。
- ・ 展示会等での技術デモなどを通し、規格の理解と普及の推進を行います。

## (2) USB3 Vision 分科会

- ・ IVSM・U3VTechnical Committee フォローを中心とした USB3Vision 規格動向の共有と提案活動を引き続き実施します。
- ・ 一方で USB Implementors Forum で規定される標準規格(USB4/USBPD)に対する JIIA 会員内でのニーズを調査し、USB3 Vision 規格への取り込みを提案する活動を検討します。

## (3) Camera Link 分科会

- ・ Version 3.0（主に GenICam 対応）の議論が始まり、具体的な内容が示された時点で、JIIA 側としての見解をまとめるための活動を再開し、必要があれば提案を行います。

## (4) GigE Vision 分科会

- ・ IVSM のフォローを中心とした規格化動向の共有、また、GenICam 分科会と連携し、制御を含めた規格の理解と普及を推進します。

## (5) 光伝送メディア分科会

- ・ A3 での Small optical connector で議論が開始されたことや、センサーの高度化に伴いニーズが高まってくる事が予想されることなども踏まえ、活動の再開します。
- ・ 新提案があれば、規格への追加のための議論、検討などを行います。

## (6) Embedded Vision I/F 分科会

- ・ 展示会での動展示・静展示やセミナー等を通じて SLVS-EC の普及活動を行います。
- ・ Use Case の議論、及び、Use Case に向けた実証実験を行います。

## (7) コネクタ&ケーブル認証制度分科会

- ・ ガイドラインリリースを 4 月に行いそれをもとに①都産技での認証評価対応 ②エンドユーザーへの認知、普及活動を行うとともに新たに GigE ビジョン向けの要望確認を行います。

## (8) IIDC2 分科会

- ・ Version 1.3.0 検討作業及び規格書発行を予定します。
- ・ レンズ分科会にて昨年度発足した「LensConnect 作業部会」に参画し、本分科会にて OpticControl の策定を行います。

## (9) GenICam 分科会

- ・ IVSM のフォローを中心とした規格化動向を共有し、規格の理解と普及を推進します。

#### (10) カメラ仕様分科会

- ・ EMVA1288 の ISO 化について、引き続き国内協議会、国際会議に参加し、国際標準化を支援します。
- ・ EMVA1288 準拠 Camera Calibrator のオンサイトデモの開催を予定します

#### (11) 照明分科会

- ・ 既存の規格書およびガイドラインの見直しについて、ここ数年取組を進めていたものの成果が出ていない状況が続いていましたが、改めて規格書の改定について計画を立て、本活動をメインテーマに位置づけ取組むこととします。改定時期を 2026 年 6 月に設定し作業を進めます。

#### (12) レンズ分科会

- ・ 既存規格の定期見直しを含め、標準仕様の拡充を図ります。
- ・ 昨年度発足した「LensConnect 作業部会」において、レンズ機能遠隔制御技術の標準化を進めます。
- ・ 光学用語集の英訳作業のほか、カメラ・撮影レンズに関する光学系技術などの講演会や勉強会を計画的に実施します。

#### (13) 高忠実度色再現分科会

- ・ 将来的なアップデートを視野にした普及活動について、標準化委員会で検討します。

#### (14) 次世代 Vision ネットワーク準備部会

- ・ 昨年度にはロボットとビジョンが協調する姿としてのデモ機の製作および動展示を実施できたことを踏まえ、今後は協調する姿としてのユースケースを具体的に提示できる活動を推進します。
- ・ 2022 年 12 月に制定したガイドラインに対して追加コマンドの検討を進めます。具体的には、まずはカメラのパラメータであるゲインおよび露光時間への制御用のコマンドを設けます。また、レジスタの割付作業を進めて、できれば実機による検証を視野に入れた活動を予定します。

### 4. 国際規格推進委員会

JIIA は総務省認可の一般社団法人情報通信技術委員会（The Telecommunication Technology Committee、TTC）に引続き会員として参画し、マルチメディア応用専門委員会マシンビジョン Sub Working Group（TTC マシンビジョン-SWG）の委員として中心的役割を担い、定例、或は臨時招集提案による会合への積極的参加、議論を行い、国際電気通信連合電気通信標準化部門（International Telecommunication Union Telecommunication Standardization Sector、ITU-T）へのマシンビジョン関連規格改善案、並びに新規規格案の発案を行います。

ITU-T の再編により、今年から第 21 研究委員会（SG21）の Associates 会員として参画、提案されているマシンビジョン関連規格の調査分析、規格策定会合における発言あるいは寄書提出による規格の改善の実施、新規マシンビジョン関連規格の提案等による、国際標準規格化への積極的な関与と G3 及び JIIA の標準化の反映を主眼として引き続き活動します。

JIIA 会員への寄与として以下の活動を推進していきます。

- (1) マシンビジョン関連規格発案の具体的な活動の一步として、G3 マシンビジョン規格体系のITU-T内へのインプットを進めていきます。
- (2) TTC マシンビジョン-SWG の活動を通して、ITU-T、及び本邦総務省通信規格課での議論の内容を踏まえ、マシンビジョン関連規格の国際標準化の動向、情報を可能な範囲で JIIA 会員へセミナーなどの手段を持って開示、提供します。
- (3) ITU-T 内での動向を踏まえ、G3 内で既に規格化されている技術、或いは議論している規格自体の知的財産を最大限保護するための情報収集に努めます。
- (4) JIIA 会員の GSAC 内のサブワーキンググループ内への参加を募ります。

## ■ 活動スケジュール

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| ・ TTC マシンビジョン-SWG            | : 随時                 |
| ・ ITU-T SG21 本会合 (スイス・ジュネーブ) | : 10 月               |
| ・ ITU-T SG21 中間会合 (場所未定)     | : 6 月、7 月、8 月 (以降未定) |
| ・ 国際画像センシング展、機器展におけるセミナー開催   | : 6 月、12 月           |

以上の通り、2025 年度の活動計画をご提案致します。